

新型コロナウイルス感染症に配慮した 学習活動例（高等学校編）

新しい生活様式における保健体育授業の工夫(映像資料)

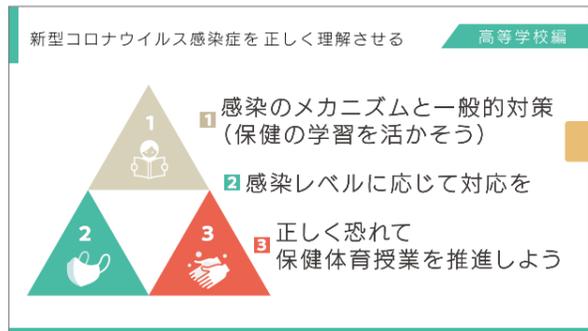
はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、社会全体の生活様式に大きな影響を及ぼしています。特に学校では、緊急事態宣言等による臨時休業、学校行事の見送りなど、これまで経験したことのない変化の中で、生徒はこれまで以上に人間関係の構築や自己肯定感の醸成が難しくなっています。これらのことから、新しい生活様式の中で、資質・能力の3つの柱をバランスよく育成できる保健体育の果たす役割は極めて重要と言えます。本映像が、地域の感染状況を踏まえた新しい生活様式における授業づくりの参考になるよう願っています。

代表 桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部 佐藤 豊

新しい生活様式における保健体育授業の実施に向けて

新型コロナウイルスの感染症を正しく理解させ、各地域の感染レベルに応じた対応を実施し、保健体育の授業での感染防止と学習の充実を図りましょう。

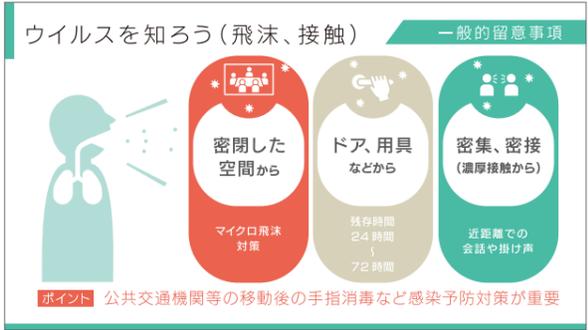


状況の変化に対応して

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動(自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限る
レベル2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	感染リスクの低い活動から徐々に実施 感染リスクの高い活動を徐々に実施	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

出典：文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～

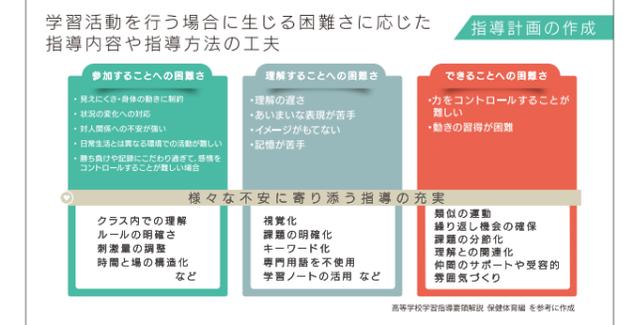


新型コロナウイルス感染症に配慮した授業の工夫のポイント

主体と環境の視点から



ユニバーサル・デザインの視点から



施設への移動時や集合の隊形の工夫、活動と活動の間の換気、手洗い、消毒など学習環境のマネジメントと同時に、すべての生徒が安心して参加できる指導内容や指導方法を工夫しましょう。「主体的・対話的で深い学び」を感染リスクを減少させながら継続しましょう。

- タブレットやホワイトボードを使って「気付き」と「理解」と「対話」を引き出す。
- ペアやグループでの活動では、密にならない「ソーシャルディスタンス」を守る。
- マークの利用、用具の消毒、換気を十分にすることで、安心できる学習環境をつくる。
- 困難さに応じた指導の工夫の視点から、行動の仕方のルールや掲示などの指導を充実しましょう。

外部評価委員の声

瀬尾 一幸 (神奈川県立総合教育センター 体育指導センター 指導研究課)

アンケートを実施したところ、多くの教員から新型コロナウイルスの感染を防ぎながら、「どのように保健体育の授業を進めたらよいか」という声があがって来ました。どの領域も、その声に応えるような内容の動画になっています。

尾形 友秀 (北海道教育委員会 学校教育局 健康・体育課)

どのように感染症対策を講じながら、保健体育の学習を進めることができるのか、たくさんのヒントがこの動画の中に盛り込まれています。各学校でご活用いただき、子供たちの学びが止まることのないよう、授業づくりに取り組んでいきましょう。

青木 哲也 (北九州市立篠崎中学校)

この動画は、基本的な感染症対策と学習指導要領解説に示されている要素を具体化するヒントが多く盛り込まれています。生涯につながるスポーツや健康などの価値を伝える、楽しく、学びのある授業を計画するために、参考にしたい内容です。

佐藤 若 (山形県立南陽高等学校)

この動画には各領域の感染対策ポイントと新学習指導要領に対応した優れたアイデアが凝縮されており、1つの教材で2倍学べる資料です。現場の教師が安心して指導できる工夫例が満載。コロナ禍における基本的な学校生活や特別活動指導にも生かせる内容です。

「新型コロナウイルス感染症に配慮した学習活動の開発(中学校、高等学校保健体育)」資料作成委員会(2021.3現在)

- 開発委員
- | | |
|-----------|-----------------|
| 総説/体づくり運動 | 佐藤 豊 (桐蔭横浜大学) |
| 器械運動 | 松本 格之祐 (桐蔭横浜大学) |
| 陸上競技 | 桜井 智野風 (桐蔭横浜大学) |
| 水泳 | 大越 正大 (東海大学) |
| 球技 | 清水 将 (岩手大学) |
| | 吉野 聡 (茨城大学) |
| | 佐藤 国正 (桐蔭横浜大学) |
| 武道 | 本多 壮太郎 (福岡教育大学) |
| | 廣川 充志 (桐蔭横浜大学) |
| ダンス | 椿 ちか子 (鹿屋体育大学) |
| 保健 | 井口 成明 (桐蔭横浜大学) |
| 医学監修 | 瀬戸口 靖弘 (桐蔭横浜大学) |
| 編集 | 大石 進 (桐蔭横浜大学) |

- 外部評価委員
- 青木 哲也 (北九州市立篠崎中学校)
- 岩佐 知美 (高槻市教育委員会)
- 尾形 友秀 (北海道教育委員会)
- 佐藤 若 (山形県立南陽高等学校)
- 清田 美紀 (東広島市教育委員会)
- 瀬尾 一幸 (神奈川県立総合教育センター)
- 藤田 弘美 (行橋市立延永小学校)
- 山崎 悦宏 (横浜市教育委員会)
- スポーツ庁
- 伊藤 賢 (スポーツ庁政策課学校体育室長)
- 古市 智 (スポーツ庁政策課学校体育室長補佐)
- 関 伸夫 (スポーツ庁政策課教科調査官)
- 横嶋 剛 (スポーツ庁政策課教科調査官)
- 斎藤 祐介 (スポーツ庁政策課学校体育室指導係(併)保健教育係)
- 後藤 尚道 (スポーツ庁政策課学校体育室指導係(併)保健教育係)



総論

保健体育で共通する新しい生活様式の留意点をまとめています。正しく恐れることへの理解を深め、生き生きと生徒が主体的に取り組む保健体育の学習を進めていきましょう。

- 1 基本的対策の考え方
- 2 各領域共通の留意事項



体づくり運動

自他の心身の状態に気付いたり、仲間と関わる体づくりの運動、実生活に生かす運動の計画と実践の活動の留意点や言葉かけ、感染予防の工夫を紹介します。

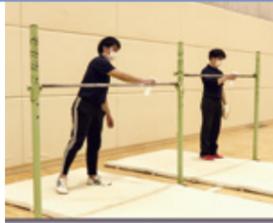
- 1 体づくりの運動の授業における工夫(気付き)
- 2 体づくりの運動の授業における工夫(関わり合い)
- 3 実生活に生かす運動の計画の授業における工夫
- 4 実生活に生かす運動の計画の授業における工夫(卒業後の継続に向けて)



器械運動

器械運動で使用する用具の消毒等の留意点やマット運動、鉄棒運動、跳び箱運動、平均台運動の学習時の隊列の工夫、内容の工夫など、密な状態をつくらないように効率よく学習する例を紹介します。

- 1 器械運動の授業における工夫(全体的なポイント)
- 2 マット運動の授業における工夫
- 3 鉄棒運動の授業における工夫
- 4 平均台運動の授業における工夫
- 5 跳び箱運動の授業における工夫



陸上競技

グラウンドで授業を行う際の整列や器具の配置等の具体例を示します。また、生徒相互で役割分担をしながら学習を進める中での、課題発見から合理的解決に向けての取組例を紹介します。

- 1 短距離走・リレー、長距離走の授業における工夫
- 2 ハードル走の授業における工夫
- 3 走り高跳びの授業における工夫
- 4 砲丸投げの授業における工夫



水泳

授業前の準備や授業後の活動における留意点、交流を重視した導入活動や、教え合いを重視した泳法学習などにおける、プール内外での活動の工夫や留意点を紹介します。

- 1 水泳の授業における工夫(入水前後の活動)
- 2 水泳の授業における工夫(水慣れの活動)
- 3 水泳の授業における工夫(泳法の学習)



球技(ゴール型)

近接した場面を減少させながらゴール前の攻防を学習します。パスを用いたゲームによってお互いに間隔を取り、密にならないように授業を進めるための参考例を紹介します。

- 1 サッカーの授業における工夫 ①
- 2 サッカーの授業における工夫 ②



球技(ネット型)

ネット型では、バドミントンを例に、基礎的なラケットの操作と空いた場所を巡る攻防を学ぶ際、仲間との連携したプレイの中でも密にならないような工夫例を紹介します。

- 1 バドミントンの授業における工夫 ①
- 2 バドミントンの授業における工夫 ②



球技(ベースボール型)

基礎的なキャッチボールからゲーム形式まで、技術的な段階を踏みながら、教え合いの活動を保ちつつ進める際に、密にならない場の工夫例を紹介します。

- 1 ソフトボールの授業における工夫



武道(柔道)

密を避けるための場の工夫と授業の進め方を紹介します。また、技の習得では、一人で行う練習方法や、距離をとっての練習、柔道衣や帯を活用した工夫例を紹介します。

- 1 柔道の授業における工夫(投げ技)
- 2 柔道の授業における工夫(固め技)



武道(剣道)

攻防や仲間との教え合いの際に密をつくらないように行う「剣道具を使用しない場合」と「剣道具を使用する場合」の具体的な学習例について紹介します。

- 1 剣道の授業における工夫 ①
- 2 剣道の授業における工夫 ②



ダンス

「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の各ダンスについて、それぞれのダンスの特性を段階的に学ぶ際に、密を避け、仲間と関わり合える場の設定や留意点、用具の工夫例を紹介します。

- 1 創作ダンスの授業における工夫(ものを使った動き)
- 2 創作ダンスの授業における工夫(対極の動きの連続)
- 3 フォークダンスの授業における工夫
- 4 現代的なリズムのダンスの授業における工夫(ヒップホップのリズム ①)
- 5 現代的なリズムのダンスの授業における工夫(ヒップホップのリズム ②)



保健

教師の一斉授業、生徒同士の話し合い学習、更には心肺蘇生法を例に実習時の留意点を紹介します。感染リスクを減少しつつ、主体的・対話的で深い学びを継続しましょう。

- 1 話し合いの活動における工夫
- 2 応急手当の実習における工夫

